



長い夏休みもあっという間に終わり、2学期がスタートしました。子どもの姿が学校に戻り、活気に満ちているのではないのでしょうか。聾学校も乳幼児教育相談に通う0歳児から高等部生まで、幅広い年齢層の子どもたちが、毎日行き交っております。

さて、聴覚相談センターでは夏休み恒例の『聴覚障害教育研修』を開催し、80人を超える先生方にご参加いただきました。例年に比べ中学校、高等学校所属の先生方の参加が増え、聴覚障害教育に対するニーズの高まりを感じました。今回の聴覚相談センターだよりでは「医療との連携」に関する情報を掲載いたします。

『鹿児島市立病院との連絡会 / 人工内耳の更新について』

鹿児島市立病院耳鼻咽喉科から医師の津曲先生と言語聴覚士の草野先生、諏訪園先生に来校いただき連絡会を行いました。主に乳幼児教育相談が対応しているケースについて、保護者の了解の上、支援状況の確認や補聴機器の活用状況、今後の支援の方向性等について意見交換を行いました。乳幼児教育相談の対応ケースに限らず、幼稚部以上の本校在籍児などに関する情報提供もいただき、早速、校内の関係職員や他の関係機関と情報共有を行い、今後の支援の方向性について確認することができました。

会の後半は、今年の6月から始まった「人工内耳の更新」が話題になりました。同一の人工内耳を継続装用して5年以上が経過しており、一定の条件を満たしていると保険適用の範囲で人工内耳のスピーチプロセッサをアップグレード（新しいモデルへ更新）することができるケースがあるようです。詳しくは下記URLより日本耳鼻咽喉科学会の指針をご確認ください。また、この件に関して相談や質問等があれば鹿児島市立病院耳鼻咽喉科へ直接お問い合わせください。



人工内耳スピーチプロセッサのアップグレード指針について（2024年2月15日）

https://www.jibika.or.jp/modules/committees/index.php?content_id=137

就学・教育相談に関連して

来年度に向けて就学・教育相談が本格的に進んでいます。県内の各市町村でも就学相談会や審議会等が行われる時期かと思えます。どこを学びの場として選択するかで学習の形態や支援内容が異なってきます。

子どもの状態を多面的に捉え、適切な学びの場を選択する必要があります。

聴覚障害児に対し、適切な就学や進路選択が行われるように聴覚相談センターとしては以下のようなサポートが可能です。ぜひ、ご相談ください。

- ・就学先に関する相談
- ・学習に関する困りごとへの相談
- ・聴覚障害教育に関する情報提供
- ・受験における合理的配慮等に関する相談
- ・進学先との移行支援会議への出席
- ・本校の随時体験など

鹿児島県立鹿児島聾学校

代表 TEL 099-228-2200 FAX 099-228-2211

聴覚相談センター（外園）

【直通】TEL 099-228-2300 FAX 099-228-2311

お気軽に ご相談ください(^_-)-☆

★ 相談は無料です。

★ 相談内容に関する秘密は厳守します。

★ 全ての支援事業は聾学校への就学を勧めるものではありません。